

## 天竜区緑恵台土砂崩落に係る第三者による技術的検証会（第2回）

### 開催概要

1. 日時：令和5年1月17日（火） 10:00～11:00
2. 場所：浜松市役所本庁舎8F 第3委員会室
3. 出席委員：  
    沢田 和秀 岐阜大学 教授  
    松田 達也 豊橋技術科学大学 准教授
4. 次第：
  - （1）開会
  - （2）技術的検証会（第1回）の内容確認
  - （3）天竜区緑恵台土砂崩落原因調査報告書（案）の検証
  - （4）閉会
5. 議事要旨：  
    別添のとおり



写真-1：技術的検証会（第2回）開催状況

# 天竜区緑恵台土砂崩落に係る第三者による技術的検証会（第2回）

## 議事要旨

### 1. 発生のメカニズムの推定、検証

- ・ 第5章の記載内容について、以下のように修正した。
    - ①素因：雨水が集水しやすい沢状地形の斜面に盛り土がされていたこと。
    - ②誘因：緑恵台の近傍観測地点のうち、気象庁のアメダス天竜観測所の被災時降水量（時間最大降水量:81.5mm/h・日最大降水量:264.5mm）は、1976年の観測開始以降最大であった。
- <検証委員>
- ・ 上記内容について妥当である。

### 2. 土質試験結果・造成盛土斜面の安定性評価

- ・ 盛り土除去後、造成盛土の法面が露出するが、崩落時に湧水が確認されていることから災害対策基本法に基づく応急対策が完了したと判断するためには、地下水の影響について評価した斜面の安定性の照査が必要となる。
- ・ 安定性評価は、宅地造成における盛土等の一般的な設計基準となる「宅地防災マニュアルの解説」に基づき実施した。
- ・ 現地で採取した試料を用いて土質試験を実施し、造成盛土斜面の安定性評価に必要な土質定数を決定した。

<検証委員>

- ・ 斜面の安定性評価の手法については妥当である。
- ・ 盛り土除去後の盛土法面全体の安定性評価をするために用いる土質試験の試料が1箇所のみでよいのか。

<事務局>

- ・ 土質試験の追加実施を検討する。

### 3. 残存盛り土対策

#### ①盛り土除去

- ・ 残存盛り土を除去し、造成盛土の法面を安定勾配の1:1.8(約30度)で整形し、高さ5m毎に幅1mの小段を設置する。

#### ②排水対策

- ・ 法面内の地下水位を下げ、法面を安定させるため地下水排除工を施工する。
- ・ 降雨の法面内への浸透を防ぐため法面に小段排水および縦排水を整備し、併せて流末排水路を整備して既設水路へ接続する。

<検証委員>

- ・ 上記内容について妥当である。